

第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略のKPIの実績について(令和3年度)

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和3年度における新型コロナウイルスの影響及び対策	
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興	1	納税義務者の総所得金額	百万円	商工労働課	25,636 (R1)	目標数値	25,933	26,239	26,548	26,861	27,178	101.0	達成	コロナ禍による市民所得の押し下げ圧力が懸念されたものの、事業の生産性向上に向けた取り組みにより昨年引き続き、給与所得と営業所得が増加し市民所得の向上が図られた。 今後は、ものづくり教育等の推進や積極的な情報発信等により地域企業の認知度や魅力向上を図っていくとともに、働く女性に対する支援や子育て支援を絡めながら地域一体となって地域の稼ぐ力を牽引する産業の底上げをしていく。	昨年と同様に金融機関と連携して資金繰り支援を講じたほか、中小企業者の事業継続と、市内における消費喚起のための地域経済対策を講じた。国、県、市の連携による財政支援等により、コロナ禍で沈む地域経済を下支えることができた。	
						実績値	25,498	26,513								
	2	納税義務者数	人(個人)	商工労働課	10,648 (H30)	目標数値	10,707	10,766	10,826	10,886	10,946	96.3	未達成	人口減少と高齢化の進行により納税義務者数は減少傾向が続いており、若者の雇用確保・地元定着に取り組んだものの、若者の市外流出の抑制に至らなかった。 今後、市外からの雇用確保に向けた情報発信を行い、デジタル技術を活用し人材確保に向けた支援策の充実に取り組んでいく。	コロナ禍において、市内の有効求人倍率が国内、県内よりも高く推移し、人手不足が顕著に表れている。 また、広報等で企業紹介を行い、市民に周知を行った。	
						実績値	10,574	10,364								
	3		社(法人)	商工労働課	654 (R1)	目標数値	655	650	651	652	653	96.8	未達成	新型コロナウイルス感染症経済対策など遠野商工会や関係機関と協力して事業継続支援に取り組んだものの、法人数は減少傾向が続いている。 今後、関係機関と協力し事業者の伴走支援等を円滑に行い、効果的に課題解決を図っていく。	コロナ禍において、中小企業者の事業継続を支援するため、事業者の固定費負担軽減策を講じた。 また、コロナ収束後の景気回復を見据えた企業の設備投資を支援し、事業の生産性向上を促進した。	
						実績値	651	629								
	4	製造品出荷額	億円	商工労働課	717 (H29統計)	目標数値	732	430	500	530	560	153.7	達成	(令和3年経済センサス活動調査の結果が公表前のため、令和2年実績工業統計表の数値を記述。) 市内ものづくり産業においても、経済活動の国際化に伴い、海外動向の影響が及ぶ状況になっている。 令和元年は米中貿易摩擦による国内製造輸出の純化により、市内製造品出荷額も対前年比減少した。 今後も世界的な不確実性の高まりが想定される中、自社の被害想定だけでなくサプライチェーン全体を俯瞰し、調達先の分散など、多面的なリスク対応を通じて柔軟性を強化していく。	コロナ収束後の景気回復を見据え、企業の設備投資を促進するため、商工業再生・持続化補助金により、市内18事業の生産性向上を支援した。	
						実績値	731	661								
	【重点プロジェクト2】 タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	5	農家世帯割合	%	農林課	41.09 (R1)	目標数値	41.20	41.31	41.42	41.53	41.64	100.8	達成	令和3年度の農家世帯数は、前年度と比較し77世帯増加した。 今後においては、取得した農地の有効活用を促すため、第3次遠野市農林水産振興ビジョンに基づく各種施策を実施していく。	
							実績値	40.79	41.65							
		6	新規就農世帯数	世帯	農林課	2 (H30)	目標数値	7	7	7	7	7	57.1	未達成	農地法3条を活用し、新規で農地を取得または借りた世帯数は4件に留まった。 しかしながら、新規に認定農業者等の認定を受けた世帯もあり、農業関係人口の維持・拡大の役割を果たした。 (1) 認定新規就農者から認定農業者への切替 5件 (2) 認定農業者への新規認定 6件 (3) 認定新規就農者への新規認定 2件 今後は、新たに農業に取り組みとする世帯の掘り起こしを積極的にを行う。	
							実績値	5	4							
7		重点野菜出荷額	億円	畜産園芸課	1.9 (H30)	目標数値	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	87.0	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により野菜の価格が全般的に安値で推移し、重点推進品目についても生産額が減少となった。 生産者の維持、栽培面積の確保に向け、遠野市売れる農畜産物生産支援事業の周知を図るとともに、今後は、関係機関と連携し、栽培管理技術や作業効率を高める取り組み等、低コスト化に対する支援に取り組む。	飲食店等の休業措置により需要が減少し市場価格が全般的に安値となった。	
						実績値	2.3	2.0								
8		農産物直売所売上額	億円	畜産園芸課	5.9 (H30)	目標数値	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0	86.0	未達成	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令等により、上半期においては、入込数、売上額ともに前年度を下回ったが、下半期においては、市外からの来客が多い道の駅の前直で、持ち直した期間もあり、通年では入込数、売上額ともに前年度を上回った。 今後は、感染防止対策を行いながら、各産直個々の魅力を高める取組をし、売り上げの回復を目指す。	各産直施設において一時的に休業や時短営業を実施したことと合わせて、売上向上に向けたイベント等も中止したため、入込客が減少した期間もあったが、全国的な緊急事態宣言解除後は、緩やかにではあるが、入込数が増加に転じた期間もあった。 また、産直連絡協議会を通じて、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、ガイドラインに沿った施設運営を徹底した。	
						実績値	4.8	4.9								
9		6次産業化関連効果額	億円	商工労働課 産業企画課	18.2 (H30)	目標数値	18.3	18.5	18.5	18.5	18.5	91.4	未達成	道の駅遠野風の丘のリニューアル効果もあり、産直の売上額を除く特産品等売上額は前年度と比べ154.8%まで伸ばすことができた。しかし、コロナ前の令和元年度と比較すると8割程度までしか回復することができておらず、6次産業化関連効果額全体でも約9割までしか回復することができていない状況となっている。市内農産物直売所の売上額の推移は減少傾向にあり、高齢化等による生産量の減少もコロナ以外の影響として考えられる。新型コロナウイルス感染症対策と並行して掘り確保のための取組が必要である。	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止され売上も減少した事業者や、果ごもり需要等をターゲットとした新商品を開発する事業者に対し、六次産業化チャレンジ支援事業補助金により適度な支援を行った。 ・新商品開発への支援 2件 ・販路拡大への支援 3件	
						実績値	14.6	16.9								

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和3年度における新型コロナウイルスの影響及び対策	
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	10	移住者世帯数	世帯	観光交流課	6 (H30)	目標数値	10	10	10	10	10	170.0	達成	2年ぶりにリアル開催されたふるさと帰郷フェアへの参加や、リモート開催された岩手県及び県南広域振興局が主催するセミナー等に参加するなど、「で・くらす遠野」として常に移住希望者のワンストップ窓口を心がけ、近隣自治体や関係団体と広域的な連携を取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に情報発信した結果、令和3年度の相談件数は延べ72件、17世帯31人の移住につながった。 今後、移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等での遠野の魅力発信、リフォーム事業助成金等の利用促進など、移住定住に向けた取組を展開していく。	移住定住イベントで唯一リアル開催されたふるさと帰郷フェアを除き、多くがリモートで開催されたため、遠野の魅力や各種制度の情報発信が不十分であったため、移住希望者が知りたい情報や市が発信したい情報を「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを使い随時発信した。	
						実績値	7	17								
	11	観光客宿泊割合	%	観光交流課	13.64 (H30)	目標数値	13.71	13.77	13.78	13.78	13.78	124.7	達成	令和3年度は、東北デスティネーションキャンペーンによって、観光客の入込を期待する年度であったが、新型コロナウイルス感染症による2度の岩手緊急事態宣言の発令や市内での感染者数増加、イベントの中止などにより観光客数は減少となった。 しかし、宿泊客については、宿泊応援クーポン事業や市内経済対策等の効果により、宿泊者の割合が高まった。	観光推進協議会が実施する宿泊応援クーポン事業や回遊クーポン事業に「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して事業支援を図ったほか、指定管理施設へのWi-Fi環境整備を行い、アフターコロナを見据えた事業を展開した。 今後も、各種クーポン事業等をPDCAサイクルに基づいて効果検証を行い、実施団体や関係団体との連携を強化していく。	
						実績値	15.31	17.17								
	12	地域間交流者等受入数	人	観光交流課	861 (H30)	目標数値	900	900	900	900	900	10.2	未達成	令和3年度は、友好都市をはじめとする交流市町村等との相互交流事業や、市内でのイベントが中止となり、大府市民訪問のほか、遠野みらい創りカレッジを拠点とした首都圏大学生の研修受入れのみが実施され、目標を大きく下回ることとなった。 今後は、ウイルスコソとして感染対策を行ったうえでイベントを再開し、交流人口の拡大を図っていく。	全国での感染者数増加に加え、市内でも感染者が増加したことから、他県市町村との相互交流事業や市内イベントが中止となり交流者等の受入れができなかった。 今後も、感染対策の徹底を含めた受入れ体制について関係団体等と検討を進めている。	
						実績値	198	92								
	13	で・くらす遠野市民新規会員割合	%	観光交流課	18.6 (H30)	目標数値	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	132.7	達成	友好都市との交流事業や遠野郷人会総会が中止となったことにより、「で・くらす遠野」市民制度の直接的なPRを行うことが難しく、ホームページやインスタグラムを活用し、遠野の地域情報や市民制度の周知を行った結果、新規会員の割合が高まった。 また、会員の申込から決済手続きまでをホームページ上で完結できる利便性を向上させたことも割合が高くなった要因と考える。 今後も、「で・くらす遠野」市民制度の周知に努め、会員の増加につなげていく。	友好都市との交流事業や遠野郷人会総会が中止となり、「で・くらす遠野」市民制度の直接的なPRができなかった。 そのため、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に遠野の魅力、地域情報及び市民制度等の情報発信を行った。	
						実績値	16.5	29.2								
	【重点プロジェクト4】 「子育てするなら遠野」の推進	14	合計特殊出生率	人	こども政策課	1.71 (H30)	目標数値	1.72	1.74	1.76	1.78	1.80	90.8	未達成	合計特殊出生率は、1.58(令和2年度)で目標に対し、0.16下回る結果となった。岩手県の1.49を上回っているが、依然として少子化傾向が続いている。 助産院ネットワークや子育て推進事業、幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリーサポート・センター事業など、安心して産み育てられる環境づくりのため、妊娠から出産、子育てまで、切れ目のない支援を継続していく。	感染拡大や長期化の影響により、仕事や将来への経済的な不安、子育ての負担増が出生数減少の要因の一つと考えられる。 安心して産み育てられる環境づくりを図るため、「第2次遠野わらすっくプラン(令和2年度～6年度)」の着実に実行し子育て世帯に寄り添った取組を検討していく。
							実績値	1.73	1.58							
		15	この地域で子育てをしたと思う親の割合	%	こども政策課	91.1 (H30)	目標数値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	94.4	未達成	今年度目標値93.0%から5.2%下回る結果となった。少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化により、親の子育てにかかる不安や負担が増大している現状において、すべての親が妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を受けられるよう体制を充実させる必要がある。 また、この地域で安心して子育てできるよう相談先の充実や環境の整備に努める。	感染拡大や長期化に伴い、妊娠期から子育て期における各事業の縮小、延期が常態化し、十分に相談できる機会が減少した。 事業を行う場合は、3密を避ける工夫と感染予防策の徹底に努め、可能な範囲での事業を実施した。さらに個別で随時相談や電話相談を行い、コロナ禍でも親が安心して子育てできる体制の充実にも努めた。
							実績値	93.6	87.8							
16		わらすっく条例応援認定事業者数	事業者	こども政策課	34 (H30)	目標数値	40	41	42	43	44	112.2	達成	地域全体で子育てを応援する環境づくりを図るため、子育て支援を積極的に実施している事業者をわらすっく条例応援認定事業者として、新たに2事業所、更新21事業所を認定した。 今後も、仕事と子育てを両立できる環境づくりと子どもの育成に関する活動支援のため、市内事業所に普及啓発を図っていく。		
						実績値	44	46								
【重点プロジェクト5】 高齢者の自立と社会参加の促進		17	ICT健康づくり事業参加者数	人	健康長寿課	1,042 (H30)	目標数値	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	82.1	未達成	目標値には及ばなかったものの、新規参加者は217人、継続参加率は85.6%と高い水準であり、健康無関心層が健康ポイントによるインセンティブ(動機付け)をきっかけに、健康維持へと行動変容できている。 地域での計測会や運動教室、市内11の事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健康アンバサダー養成、地元商店街や観光施設と協働したウォーキングイベント等の実施により、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄っている。今後も市民の健康づくりを応援するとともに、ポイントの経済活動利用により地域の活性化に努めていく。	新規参加者募集イベントは実施することができなかったが、ロコミ(お友だち紹介キャンペーン)やすずらん振興協同組合加盟店への呼びかけなどの工夫により募集周知を行った。 また、感染予防対策を徹底し、地域での計測会・運動教室の継続、屋外でのウォーキングイベントを実施。外出やコミュニケーション不足による健康二次被害の防止に努めた。
							実績値	1,448	1,477							
		18	シルバー人材センター会員就業率	%	健康長寿課	100 (H30)	目標数値	100	100	100	100	100	92.9	未達成	シルバー事業への理解と新規会員の獲得に向け、遠野テレビでのCM放映等の実施により、令和3年度の会員数は前年度より8人増と211人となった。一方、受託事業における就業率は目標の100%を達成できなかったが、家庭等における軽度な修繕や作業、市委託事業としての軽度生活援助事業等、地域に密着した就業機会の提供を行い、高齢者の生きがいの充実が図られた。 今後も補助金交付等により、働く意欲のある高齢者の会員確保と受託事業の新規拡大の支援を行っていく。	新型コロナウイルス感染症への不安から就業しない会員が増えたこと、就業率の低下に影響があった。 会員が利用者宅に赴く際は、マスクの着用や手指消毒など基本的な感染対策を徹底し従事した。
							実績値	100	92.9							

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和3年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
【プロジェクトX】 人と人とのふれあいによる “しあわせ度”の向上	19	遠野市ひとパワー (10の市民協働事業への参加者)	HP (ひとパワー)	経営企画課	45,010 (H30)	目標数値	45,000	44,500	44,000	43,500	43,000	49.6	未達成	市民総参加で開催される、日本のふるさと「遠野まつり」と、町民運動会が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことから、目標値を大きく下回る結果となった。 令和4年度から、行政区や消防団の再編が行われるなど、地域組織の体制強化に向け、新たな体制がスタートすることから、ウイズコロナの中で市民協働事業の在り方を模索しながら、取組の再構築を行っていく。	19-1 日本のふるさと「遠野まつり」と、19-9 町民運動会が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続の中止となった。
						実績値	23,287	22,077							
	19-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	観光交流課	10,000	実績値	0	0						令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったが、「遠野まつり50周年記念特設サイト」を通じて、郷土芸能団体の紹介や、これまでの画像、映像を公開して遠野まつりの魅力発信を行ったほか、令和4年の遠野まつり50周年に向けた機運の醸成を図るため、イメージ広告ポスターを作成して市内各所に掲出した。	新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを作成し、縮小開催も視野に検討を重ねたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、アンケート結果や県内の感染状況等考慮し、令和2年度に引き続き、令和3年度も中止となった。
	19-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	生涯学習スポーツ課	8,328	実績値	2,978	3,581						新型コロナウイルス感染症の影響により、遠野物語ファンタジー等の公演が中止となったこと、他の芸術文化事業などは感染症対策を行ったため、収容人数が会場の半数となり、鑑賞者数が減少し、目標の達成にいたらなかった。 今後、ガイドラインに即した新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、ウイズコロナを見据えた芸術文化を推進するに当たり、関係団体が主催する芸術文化事業を企画検討を図る。	対策として、館内の消毒の徹底や、体温測定専用サーモグラフィシステムの導入による感染防止対策により鑑賞者の安全を図れたことで、本来の規模には及ばないものの、次年度に繋げることができた。
	19-3	博物館講座等の受講者数	人	文化課	1,333	実績値	1,144	958						市内小中高校と連携し、ニーズに応じた博物館教室を実施した。遠野緑峰高等学校への出前講座や特別展・企画展に運動したイベントを積極的に開催したが、2月～3月に開催予定であった地区への移動展示や小学校への出前授業が市内での新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったことが影響して目標値を下回ることになった。 今後も関係機関と連携を深めながら事業を実施する。	講座開催の際にはアルコール消毒の設置、体温測定、定期的な換気を実施した。人数が多い時には、少人数のグループ分けを行い密にならないように努めた。
	19-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	市民協働課	3,717	実績値	3,039	2,907						全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから4年目の取組みとなり、令和3年度の参加者数は前年度と比べて132人減の2,907人となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止と並行しながら、花いっぱい運動や高齢者の見守り活動などを実施することができた。 今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を進めたい。	
	19-5	環境整備事業（市内河川清掃・花いっぱい運動）参加者数	人	環境課 市民協働課	10,688	実績値	10,407	9,803						(市内河川清掃：6,008人) 市内河川清掃の参加者数は前年比200人減の6,008人となった。人口減少や高齢化により参加人数が減少傾向にあるが、河川の環境整備の必要性や市民の参加意識は依然として高く、河川の環境整備を通じた交流の場にもなっており、市民協働により河川の景観維持や環境保全が成り立っている。 (花いっぱい運動：3,795人) 花いっぱい運動の参加者数は前年比404人減の3,795人となった。各地区センターや自治会周辺の花壇整備を行い、地域を多数の花で彩ることができた。 景観への配慮、世代間交流の場となっていることから、新たな担い手の参画も目標に、今後も継続して進めていく。	
	19-6	介護予防に資する住民主体の通いの場への参加者数	人	健康長寿課	60	実績値	74	286						保健推進員や民生委員、既存団体、地域の集会所等で「いきいき百歳体操」を活用した住民主体の通いの場の説明や講話を行うとともに、遠野テレビや地区広報等のメディアを活用して介護予防事業の普及啓発と新規取組団体の募集を行った。また、コロナ禍中、取組団体には感染症予防対策を徹底しながら立ち上げ支援、定期支援を行った。 今後も、住民主体の通いの場のさらなる拡大・拡充を図るとともに、リハビリテーション専門職等の助言や技術的支援を活かし、従事者の技術及びプログラムの質の向上を図る。	コロナ禍の中、手指消毒やマスクの着用、人と人との距離の確保、換気など参加者全員が同じ認識で取り組めるよう情報提供を行う等感染症予防対策を徹底しながら新規取組団体の募集や立ち上げ支援、定期支援を行うことができた。
	19-7	認知症サポーター養成講座受講者数	人	健康長寿課	190	実績値	181	368						認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族への応援者（サポーター）として地域で活動する方で、全国的な取組が展開されている。 小学校、児童館、高等学校、企業、地域等で養成講座を市内相談事業所の相談員等と協力して行い、対象者別に認知症の理解を深めるための工夫を行っている。小学生を対象とした講座では、紙芝居や視覚教材等を活用している。	前年度からの実施希望団体等を含め、講座の中止等の措置は行わず、感染予防に配慮しながら実施した。
	19-8	遠野市緑化祭参加者数	人	農林課	491	実績値	80	48						新型コロナウイルスの影響により、感染拡大を防ぐため、林業・木材産業関係者のみによる緑化祭を行った。 令和3年3月に制定した「ふるさと森を育み木と暮らすまち条例」の理念である市産材による川上から川下への木材資源の循環を実現していくため、カラマツの植栽を実施した。 木を伐ったら、植えるの循環を生み出す機会となっていることから、今後も継続して実施していきたい。	新型コロナウイルスの影響により、例年のような500人規模の参加者を集めることはできなかった。
19-9	町民運動会参加者数	人	生涯学習スポーツ課	4,498	実績値	0	0						新型コロナウイルス感染症の影響により、全町体協に確認の上、中止を決定した。	コロナの感染状況が昨年より悪化しており、開催については各町慎重になっている。 町民運動会に係る感染防止対策（ガイドライン）を示し、開催の場合は徹底することとした。	

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和3年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	19-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	生涯学習スポーツ課	6,106	実績値	5,384	4,126						小学生の田植え、稲刈り体験や中学生の職場体験など、生まれ育った地域への理解を深める機会を提供した。 また、市内の中学生と首都圏の大学生、社会人とのワークショップなどを実施し、幅広い視野を持った人材育成に取り組んだ。	参加者へのワクチン接種の呼びかけやオンラインの活用といった対策をとりつつ、感染状況を注視しながら各種プログラムを実施した。予定どおり対面で実施できた事業もあったが、感染状況の変化により、地域住民の交流事業や市外参加者との学習交流事業などは、内容の変更や中止となる事業もあった。
【分野横断プロジェクト1】 地方創生拠点「遠野風の丘」発展プロジェクト	20	道の駅「遠野風の丘」の販売額	千円	産業企画課	597,266 (H30)	目標数値	597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	81.9	未達成	曲り家をイメージした遠野らしい施設としてリニューアルオープンした道の駅「遠野風の丘」において、新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会を開催する等、ソフト面から施設の魅力・集客力向上を支援した。	県独自の緊急事態宣言は発令される等新型コロナウイルスの影響により、入込数、販売額ともになかなか伸びなかった。 感染症予防対策として、体温計設置、パーテーションの設置、店舗内換気等を行いながら営業した。
					実績値	329,186	570,985								
	21	道の駅「遠野風の丘」年間入込数	人	産業企画課	885,187 (H30)	目標数値	885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	70.0	未達成	曲り家をイメージした遠野らしい施設としてリニューアルオープンした道の駅「遠野風の丘」において、新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会を開催する等、ソフト面から施設の魅力・集客力向上を支援した。	県独自の緊急事態宣言は発令される等新型コロナウイルスの影響により、入込数、販売額ともになかなか伸びなかった。 感染症予防対策として、体温計設置、パーテーションの設置、店舗内換気等を行いながら営業した。
					実績値	549,235	689,333								
【分野横断プロジェクト2】 遠野ふるさと再生プロジェクト ～ホップの里からビールの里へ～	22	ビールの里関連イベント参加者数	人	産業企画課	8,000 (H30)	目標数値	13,000	15,000	15,000	16,000	16,000	2.2	未達成	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例年実施していたホップ収穫祭はオンラインイベントに変更して開催した。視聴回数は昨年度を下回るが、ビールの里の現状とこれからの展開の発表、視聴者参加型の企画によって、よりビールの里への興味関心を高めるものとなった。 オンラインイベントと連動し、遠野のフレッシュホップを使用したビールと特産品がセットになった商品を風の丘オンラインショップで販売し、遠野の特産品のPRに繋がった。	ホップ収穫祭は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、通常イベントをオンラインイベントに切り替えて実施し、感染拡大を防ぐことができた。新しい生活様式に合わせたセット商品を新たに販売することができ、ビールの里の新たな魅力を発信することができた。
					実績値	1,189	336								
【分野横断プロジェクト3】 高校魅力化プロジェクト	23	地域みらい留学生の人数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値	11	11	11	11	11	0.0	未達成	令和2年度の地域みらい留学生の人数1人に対し、令和3年度は地域みらい留学生はおらず、目標数値を達成することができなかった。各高校の魅力発信を今後も継続し、入学者確保に努めていく。	
					実績値	1	0								
	24	地域社会から高校への応援者数	人	学校教育課	2 (H30)	目標数値	4	6	8	10	10	16.7	未達成	遠野緑峰高校への寄附が1件あった。目標数値は達成されなかったが、「29、高校とのコンソーシアム団体数」及び「30、高校への支援活動者数」は大幅に増加していることから、引き続き地域社会と各高校の関係を深め、応援者数の確保に努めていく。	感染症対策のため、例年各校2,000人以上の来校者があがる学園祭などのイベントが制限されたため、地域社会との交流機会が減少した。
					実績値	3	1								
	25	地域みらい留学フェスタの参加者数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値	12	24	36	48	60	670.8	達成	地域みらい留学フェスタの開催方法が昨年度に引き続きオンライン開催であったため、遠方からの参加が容易になり、目標数値を大幅に上回る161人が参加し、市内県立高校の魅力発信に繋がった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前は首都圏で開催されていた地域みらい留学フェスタが、昨年度に引き続きオンラインによる開催となった。
					実績値	191	161								
	26	遠野高校への入学者数	人	学校教育課	124 (H31)	目標数値	130	130	130	130	130	80.8	未達成	目標数値は達成されなかったものの、令和2年度の入学者数94人に対し、令和3年度入学者数105人と増加したが、目標には届かなかった。遠野高校の魅力発信を今後も継続し、入学者確保に努めていく。	
					実績値	94	105								
	27	遠野緑峰高校への入学者数	人	学校教育課	58 (H31)	目標数値	60	60	60	60	60	70.0	未達成	令和2年度の入学者数57人に対し、令和3年度入学者数42人と大幅に減少し、目標には届かなかった。遠野緑峰高校の魅力発信を今後も継続し、入学者確保に努めていく。	
					実績値	57	42								
	28	高校とのコンソーシアム団体数	団体	学校教育課	39 (H30)	目標数値	40	42	43	44	45	169.0	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校と地域の団体等との協働体制によるコンソーシアムを形成し研究等に参画した団体が遠野高校が9団体、遠野緑峰高校が62人となり、目標数値を達成した。今後もこの取り組みを継続していく。	感染予防に配慮しながら実施した。
					実績値	62	71								
	29	高校への支援活動者数	人	学校教育課	227 (H30)	目標数値	230	235	240	245	250	123.8	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校が行う地域探求活動や研究活動に対する地域の支援者数は、遠野高校が65人、遠野緑峰高校が226人となり、目標数値を達成した。今後もこの取り組みを継続していく。	感染予防に配慮しながら実施した。
					実績値	239	291								